

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年4月12日(2012.4.12)

【公開番号】特開2010-29560(P2010-29560A)

【公開日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2010-006

【出願番号】特願2008-197025(P2008-197025)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月27日(2012.2.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

識別情報の可変表示を開始し、表示結果を導出表示することで遊技結果を確定する可変表示装置を備え、遊技結果が特定遊技結果となったときに遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機であって、

始動領域を遊技媒体が通過したことを検知する検知手段と、

前記検知手段において遊技媒体を検知したときに可変表示を行う権利を記憶する保留記憶手段と、

前記保留記憶に記憶された 1 の権利により行う可変表示において特定遊技結果とする可否を前記 1 の権利による表示結果を導出表示する以前に決定する事前決定手段と、

前記事前決定手段により前記特定遊技結果とすると決定される場合に、前記 1 の権利よりも前に記憶された権利による可変表示中に遊技機に設けられている演出装置を用いて前記特定遊技結果とすることを報知する予告演出を実行する予告演出実行手段と、

前記識別情報の可変表示を行う遊技状態として、所定遊技状態と、該所定遊技状態よりも遊技者にとって有利な有利遊技状態と、を含む複数の遊技状態のうちの 1 の遊技状態に制御する遊技状態制御手段と、

前記有利遊技状態に制御されているときに前記予告演出の実行を規制する規制手段と、

を備えたことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

また、特定遊技結果は、特定遊技状態の終了後に所定遊技状態に制御される所定遊技結果と、特定遊技状態の終了後に有利遊技状態に制御される有利遊技結果とを含む複数種類の特定遊技結果が設けられており、予告演出実行手段は、事前決定手段により有利遊技結果とすると決定される場合に、有利遊技結果とすることを報知する有利予告演出を実行する有利予告実行手段を含み、規制手段は、遊技状態制御手段が有利遊技状態に制御しているときに有利予告演出の実行を規制する有利予告規制手段を含む構成とすれば、有利遊技

状態という遊技者にとって極めて有利な状態においては有利予告演出が実行されず、有利遊技状態への移行に対する期待感を煽って遊技の興趣の向上を保ちつつ適度な射幸性を維持することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

また、特定遊技状態は、所定特定遊技状態と、該所定特定遊技状態よりも遊技者に付与する遊技価値が多い有利特定遊技状態とを含む複数種類の特定遊技状態が設けられており、特定遊技結果は、所定特定遊技状態の終了後に有利遊技状態に制御される第1特別遊技結果と、有利特定遊技状態の終了後に有利遊技状態に制御される第2特別遊技結果とを含む複数種類の特定遊技結果が設けられており、予告演出実行手段は、事前決定手段により第2特別遊技結果とすると決定される場合に、第2特別遊技結果とすることを報知する特別予告演出を実行する特別予告演出実行手段を含み、規制手段は、遊技状態制御手段が第2特別遊技結果により有利遊技状態に制御しているときに、特別予告演出の実行を規制する特別予告演出規制手段を含む構成とすれば、第1特別遊技結果により有利遊技状態に制御されている場合よりも、第2特別遊技結果により有利遊技状態に制御されている場合の方が遊技者にとって有利な状態（遊技価値が高い有利特定遊技状態に移行されたことによって多くの遊技媒体を獲得した状態）であるため、そのような有利な状態においては特別予告演出が実行されないこととなり、有利遊技状態への移行に対する期待感を煽って遊技の興趣の向上を保ちつつ適度な射幸性を維持することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

また、検知手段において遊技媒体を検知したときにデータを抽出するデータ抽出手段を備え、保留記憶手段は、1の権利としてデータ抽出手段により抽出されたデータを記憶し、事前決定手段は、1の権利を記憶する起因となった遊技媒体の検知により抽出されたデータが、所定遊技状態のときは予め定められた第1判定データである場合に、有利遊技状態のときは予め定められた第1判定データまたは第2判定データである場合に、特定遊技結果とすると決定し、予告演出実行手段は、1の権利として抽出されたデータが第1判定データである場合に、事前決定手段により特定遊技結果とすると決定されるものとして予告演出を実行するように構成すれば、事前決定手段による決定の実行タイミングと予告演出実行手段における予告演出の実行タイミングとの時間差に起因して、事前決定手段における決定結果と予告演出実行手段によって実行される予告演出の内容との間に矛盾が生じてしまうのを回避することができ、遊技者に不信感を与えないようにすることができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

また、特定遊技結果として複数種類の特定遊技結果が設けられており、予告演出実行手段は、事前決定手段により特定遊技結果とすると決定される場合に、決定される特定遊技結果の種類に応じて異なる演出態様の予告演出を実行するように構成すれば、予告演出の種類によって、どの種類の特定遊技結果が期待できるかを遊技者は予測することができ、

遊技の興趣を向上させることができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

また、予告演出実行手段が予告演出を開始してから、当該予告演出を実行する起因となった1の権利により行う可変表示において特定遊技結果になったときに制御する特定遊技状態が終了するまで、1の権利よりも後に記憶された新たな権利により行う可変表示において特定遊技結果とすると決定される場合であっても新たな権利よりも前に記憶された記憶された権利による可変表示中に予告演出の実行を規制する特定期間予告演出制限手段を備えれば、予告演出が行われた後、特定遊技状態が終了するまで予告演出が実行されず、どの権利にもとづく予告演出であるのかを容易に認識できる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

また、1の権利により行われる可変表示の可変表示パターン種別を複数種類のいずれかに決定する可変表示パターン種別決定手段と、可変表示パターン種別決定手段により決定された可変表示パターン種別に含まれる可変表示パターンの中から識別情報の可変表示パターンを決定する可変表示パターン決定手段と、可変表示パターン決定手段の決定結果に対応して、識別情報の可変表示中に当該識別情報の可変表示を含む演出動作を実行する演出動作実行手段とを備えれば、プログラム容量の増加を招くことなく、例えばリーチ状態とならない場合においても多様な演出を実行して遊技の興趣を向上させることができる。また、開発時において可変表示パターンの振分を容易に設定することができ、開発工数の削減を図れる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

また、予告演出の演出パターン種別として複数種類の演出パターン種別が設けられ、演出パターン種別を複数種類のいずれかに決定する演出パターン種別決定手段と、演出パターン種別決定手段により決定された演出パターン種別に含まれる演出パターンの中から演出パターンを決定する演出パターン決定手段とを備え、予告演出実行手段は、演出パターン決定手段により決定された演出パターンに対応する予告演出を実行するように構成すれば、プログラム容量の増加を招くことなく多様な予告演出を実行して遊技の興趣を向上させることができる。また、開発時において予告演出の振分を容易に設定することができ、開発工数の削減を図れる。